



梅白し まことに白く 新しく

星野立子

春もすぐそこに来ています。天満宮では、「梅まつり」が2月19日から3月5日まで行われます。境内いっぱいにはきれいな梅の花が咲き誇り、ふくよかな香りに包まれることでしょう。天満宮に春を感じに行ってみられてはいかがでしょうか。

「家庭の日」をご存知ですか

みなさんは、左のチラシをご覧になったことがありますか。

これは、「防府市青少年育成市民会議」が「家庭の日」を市民のみなさんに広く知らせるために発行したものです。毎月、第3日曜日を「家庭の日」とし、その日は家族で一緒に過ごすことをすすめています。

「うちは、いつも家族の絆を深めるための努力をしているよ」という家庭もあるでしょう。しかし、日頃の仕事に追われて、なかなか子どもに関わってやることのできないという家庭も多いのではないのでしょうか。お父さんやお母さんが働いていていそがしいことは分かりながらも、「一緒に遊びたいなー」

とちょっと寂しい思いをしている子どもも多いのではないのでしょうか。昔は、3世代が一緒に生活をしている家庭が多かったですから、お父さん、お母さんがいなくても、おじいちゃん、おばあちゃんが相手をしてくれて寂しい思いをすることは少なかったかもしれません。でも、今はそうではありません。

「家庭の日」にこんなことをしてみられたらどうですか。

子どもと広場に出かけて、一緒にキャッチボールでもしてみませんか。サッカーボールを蹴ってみませんか、バドミントンでもしてみませんか。「うまくなったなー」「遠くまで蹴れるようになったなー」「力強くなったなあー」等、一緒に体を動かしながらこのようなちょっとした会話をしてみてはいかがでしょうか。親のこのような言葉で子どもは喜びます。また、運動が苦手だという人は、一緒に映画館やコンサート、美術館等に行ってみませんか。「主人公の勇気には感動したね」「なかなかよかったね」等、お茶でも飲みながらちょっとした会話をしてみませんか。子どもの新たな一面が見られるかもしれません。

子どもと同じ時間を共有した後の子どもの顔を見てみましょう。本当に満足した、うれしそうな顔をしているはずですよ。この顔が子どもから親への最高のプレゼントです。温かい気持ちになれますよ。

また、外に出なくても親と子が面と向き合って話をするのも良い時間になると思います。子どもが小さいときから親ともども話し合う訓練をしておくことは大切なことです。子どもが高校生や大学生になって、「さあ、一緒に話をしよう」ではできるはずはありません。親子の会話は小さいときからが大切です。

子どもとつながる時間をもてるのが「家庭の日」です。これから第3日曜日が楽しくなりますよ。

問合せ先：防府市教育委員会生涯学習課 青少年育成センター（23-3013）

